

環境委員会

委員一覧 (20名)

委員長	大石 正光 (民主)	西田 吉宏 (自民)	山根 隆治 (民主)
理事	大野 つや子 (自民)	真鍋 賢二 (自民)	荒木 清寛 (公明)
理事	橋本 聖子 (自民)	矢野 哲朗 (自民)	草川 昭三 (公明)
理事	福山 哲郎 (民主)	山崎 正昭 (自民)	市田 忠義 (共産)
理事	加藤 修一 (公明)	岡崎 トミ子 (民主)	田村 秀昭 (国民)
	愛知 治郎 (自民)	小林 元 (民主)	荒井 広幸 (無)
	狩野 安 (自民)	平田 健二 (民主)	(18.10.24 現在)

(1) 審議概観

第165回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。
また、本委員会付託の請願1種類12件は、いずれも保留とした。

〔国政調査等〕

10月24日、環境行政の基本施策について若林環境大臣から発言があった。

10月26日、環境及び公害問題に関する調査を議題とし、温室効果ガス排出量の削減目標達成、循環型社会における3Rの実現、京都議定書以後の枠組み構築、鳥獣保護法改正に伴う基本指針の見直し、バイオマスエネルギー燃料の導入促進、水俣病被害者の救済、環境税導入等について、質疑を行った。

12月5日、環境及び公害問題に関する調査を議題とし、気候変動に関する国際連合枠組条約第12回締約国会議及び京都議定書第2回締約国会合について若林環境大臣から報告を聴取した後、同会議・会合、霞ヶ浦の水質浄化対策、京都議定書目標達成計画の見直し作業、環境税導入、地球温暖化に対応した防災対策、温室効果ガスの排出削減に向けた産業界の自主的取組、アフリカにおけるクリーン開発メカニズム案件発掘等について、質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成18年10月24日 (火) (第1回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

○平成18年10月26日 (木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 温室効果ガス排出量の削減目標達成に関する件、循環型社会における3Rの実現に関する件、京都議定書以後の枠組み構築に関する件、鳥獣保護法改正に伴う基本指針の

見直しに関する件、バイオマスエネルギー燃料の導入促進に関する件、水俣病被害者の救済に関する件、環境税導入に関する件等について若林環境大臣、土屋環境副大臣、北川環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕大野つや子君（自民）、福山哲郎君（民主）、加藤修一君（公明）、市田忠義君（共産）、荒井広幸君（無）

○平成18年12月5日（火）（第3回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 気候変動に関する国際連合枠組条約第12回締約国会議及び京都議定書第2回締約国会合に関する件について若林環境大臣から報告を聴いた後、同件、霞ヶ浦の水質浄化対策に関する件、京都議定書目標達成計画の見直し作業に関する件、環境税導入に関する件、地球温暖化に対応した防災対策に関する件、温室効果ガスの排出削減に向けた産業界の自主的取組に関する件、アフリカにおけるクリーン開発メカニズム案件発掘に関する件等について若林環境大臣、土屋環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕狩野安君（自民）、岡崎トミ子君（民主）、加藤修一君（公明）、市田忠義君（共産）、荒井広幸君（無）

○平成18年12月14日（木）（第4回）

- 請願第285号外11件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。